

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名		水道施設再構築計画策定支援事業		担当部局庁	生活衛生・食品安全部		作成責任者					
事業開始年度	平成26年度	事業終了(予定)年度	平成27年度	担当課室	水道課		水道課長 宮崎正信					
会計区分	一般会計											
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	新水道ビジョン							
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費							
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	人口減少社会に伴うダウンサイジングや強靱で持続可能な水道施設の再構築を行うため、人口減少社会に対応した水道施設再構築(強靱化)計画策定の手引き(仮)を作成し、水道事業者の施設再構築計画策定を支援する。											
事業概要 (5行程度以内。別添可)	・ダウンサイジングを伴う施設再構築計画の事例調査 ・水道施設再構築(強靱化)計画策定の手引きを作成するための技術的検討											
実施方法	委託・請負											
予算額・執行額 (単位:百万円)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求					
	予算 の 状 況	当初予算	-	7	6							
		補正予算	-	-	-							
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-					
		翌年度へ繰越し	-	-	-							
		予備費等	-	-	-							
	計	0	7	6	0	0						
	執行額	-	7	8								
執行率(%)	-	100%	133%									
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 27 年度	
	27年度に水道施設再構築計画策定手引きを100%作成		水道施設再構築計画策定手引きの作成			成果実績	%	-	50	100	-	100
						目標値	%	-	50	100	-	100
						達成度	%	-	100	100	-	100
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込				
	ダウンサイジングを伴う施設再構築計画の事例調査数			活動実績	件	-	2	2	-			
				当初見込み	件	-	2	2	-			
単位当たりコスト	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込				
	単位当たりコスト=X/Y X:予算額 Y:施設再構築計画の事例調査数			単位当たりコスト	百万円/件	-	3.5	4	-			
				計算式	X/Y	-	7/2	8/2	-			
平成28・29年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目		28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由							
	食品等試験検査費		-	-	平成27年度事業終了のため。							
計		0	0									

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策		II-2 安全で質が高く災害に強い持続的な水道を確保すること							
	施策		II-2-1 安全で質が高く災害に強い持続的な水道を確保すること							
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度	
			実績値	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	<p>ダウンサイジングを伴う施設再構築計画の事例調査、水道施設再構築(強靱化)計画策定の手引きを作成するための技術的検討を実施。水道施設再構築計画の策定を推進することが水道施設の再構築につながり、持続的な水道の確保に寄与すると見込んでいる。</p>									
	改革項目	分野:	社会資本整備等	② 地方公共団体による公共施設等総合管理計画の策定促進と、ストック適正化に向けた国の積極的な役割						
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 24 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 34 年度
		個別施設(道路、公園などの各施設)ごとの長寿命化計画(個別施設計画)の策定率(基幹管路の耐震化適合率)		成果実績	%	33.5	集計中	-	-	-
		目標値	%	33.5	38.1	39.8	-	50		
		達成度	%	100	-	-	-	-		
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
水道施設の再構築(強靱化)を促進することにより、水道施設の耐震化が進み、持続的な水道の確保に寄与する。										

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	将来に渡り強靱で持続的な水道を確保することは国民・社会のニーズが高く、そのために必要となる水道施設再構築(強靱化)計画策定の手引きを作成することは適当といえる。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	人口減少社会に伴う水需要減少は全国的に見られる傾向であり、水道施設再構築(強靱化)計画策定について指針を示すことは、全国一律に行うべきものであり、国が実施すべき事業といえる。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	将来に渡り強靱で持続的な水道を確保するため、水道施設再構築(強靱化)計画策定の手引きを作成することは優先度が高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	理解しやすく、かつ具体的な入札関係資料の作成などにより、入札参加者数の増加に努める。	
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		有		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	本事業を実施すること強靱で持続的な水道が受益者(国民)に提供されることから、負担関係は妥当である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	事例調査を踏まえた成果品(手引き)は、全ての水道事業者(約1,500事業体)が利用可能なものであり、妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	成果物の発注及び納品過程において費目・使途を十分に把握できており、事業目的に真に必要なものに限定されている。	
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		-	-	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	最終的な成果目標である手引きを作成しており、成果実績は成果目標に見合ったものとなっていた。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込みとおり実施できた。		
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	平成28年度に成果物を活用した取組を実施予定。		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	新水道ビジョンでは、人口減少社会に伴う水需要減少傾向の現状における過渡期の施設再構築の必要性を指摘しており、水道事業体は、人口減少社会に伴うダウンサイジングや強靱で持続可能な水道施設の再構築することが求められているが、その指針がない状況である。本事業は、人口減少社会に対応した水道施設再構築(強靱化)計画の策定方法の整理に必要な経費であり、事業の目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。			
	改善の方向性	平成27年度終了の事業である。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	新26-028	平成27年度	344

